

4. その他の環境問題

◆ダイオキシン類

ダイオキシン類は、ごみなどを燃やすと自然にできてしまう物質であり、量は少ないのですが、空気や水、土の中にも含まれています。

ダイオキシン類は人に有害な物質なので、ダイオキシン類が多く出ないように、燃やし方のきまりを作っています。

佐賀県では、毎年空気、海や川の水、土にダイオキシン類が多く含まれていないか測定していますが、これまで特に問題になったことはありません。

◆身のまわりの化学物質

わたしたちが日ごろ使っている製品は、いろいろな化学物質を使って作られています。化学物質は、わたしたちの生活を豊かにしてくれますが、使い方をまちがえると、人や動植物に悪い影響を与えてしまうおそれがあるものもあります。

自動車の排気ガス、洗剤、殺虫剤など、身のまわりにはたくさんの化学物質がありますが、排気ガスの少ない低公害車を利用したり、洗剤などはラベルの表示などをよく読み、正しい使い方をしたりして、化学物質と上手に付き合っていきましょう。



◆ 騒音

わたしたちの身の回りにはさまざまな音があります。そのうち、わたしたちの眠りを妨げたり会話ができなくなったりするような「好ましくない音」を「騒音」といいます。

騒音の原因となるものには、工場での機械の運転、くい打ちなどの建設作業、自動車の走行、スピーカーの使用、カラオケ、エアコンの室外機などがあります。

工場や建設作業で発生する騒音を小さくするため、地域を決めて工場や建設作業の騒音の大きさについてのきまりをつくっています。

用語の解説

● デシベル

音の大きさを表す単位です。



120 デシベル

飛行機エンジンの近く



100 デシベル

電車が通るときのガード下



80 デシベル

地下鉄の車内



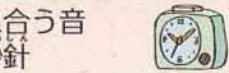
60 デシベル

静かな乗用車
ふつうの会話



40 デシベル

市内の深夜
図書館
静かな住宅地



20 デシベル

木の葉のすれ合う音
置き時計の秒針



◆ 振動

工場での機械の運転、くい打ちなどの建設作業、自動車の走行などで地面がゆれることを「振動」といいます。

振動がひどいときは、ふすまや障子がガタガタする、壁にヒビが入る、瓦がずれるなどの被害が出ることがあります。

工場や建設作業で発生する振動を小さくするため、地域を決めて工場や建設作業の振動の大きさについてのきまりをつくっています。



◆ 悪臭

動物の糞や尿のにおい、食物の腐ったにおいのような「好ましくないにおい」を「悪臭」といいます。

工場などからの悪臭をなくすため、地域を決めてアンモニアなどの悪臭の原因となる物質を出さないようきまりをつくっています。

じ ばん ちん か ◆地盤沈下

わたしたちは、地面の上に建物^{たてもの}を建てたり道路を作ったりして生活しています。この地面が沈むと建物^{たてもの}が傾いたり、道路にでこぼこができたり、川や海の水面より低くなって水路の流れが悪くなったりします。

このようにいろいろな場所で地面が沈んでいくことを「地盤沈下^{じばんちんか}」といいます。

特に有明海沿岸の佐賀平野は、有明粘土層^{ねんどそう}と呼ばれる水分を多く含んだ粘土層^{とそう}が厚く広がっており、この層の水分が地下水のくみあげすぎによって減り、層が縮むことで地面が沈んできました。

じ ばん ちん か ◆地盤沈下をなくすために

地盤沈下^{じばんちんか}をなくすためには、くみあげる地下水の量を減らしたり、川やダムからの水を使えるようにしたりすることが大切です。

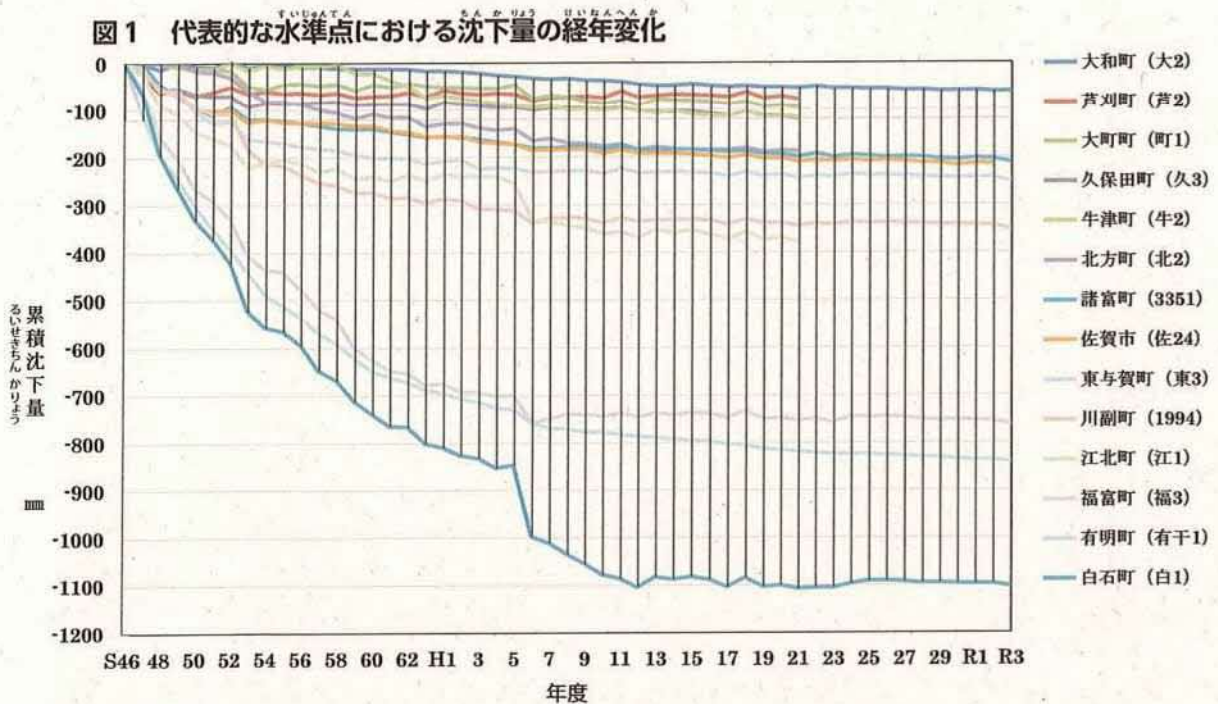


図1は、1971年から、代表的な水準点の地盤沈下した大きさです。線が下にいくほど沈下が大きかったことになります。最近^{さいきん}は地下水のくみ上げが減り、沈下も少なくなっています。

用語の解説

すいじゆんでん ●水準点

地面の高さを測っている地点です。

図2 地盤沈下等量線図
1972年2月1日～2022年2月1日
S = 1 : 100,000

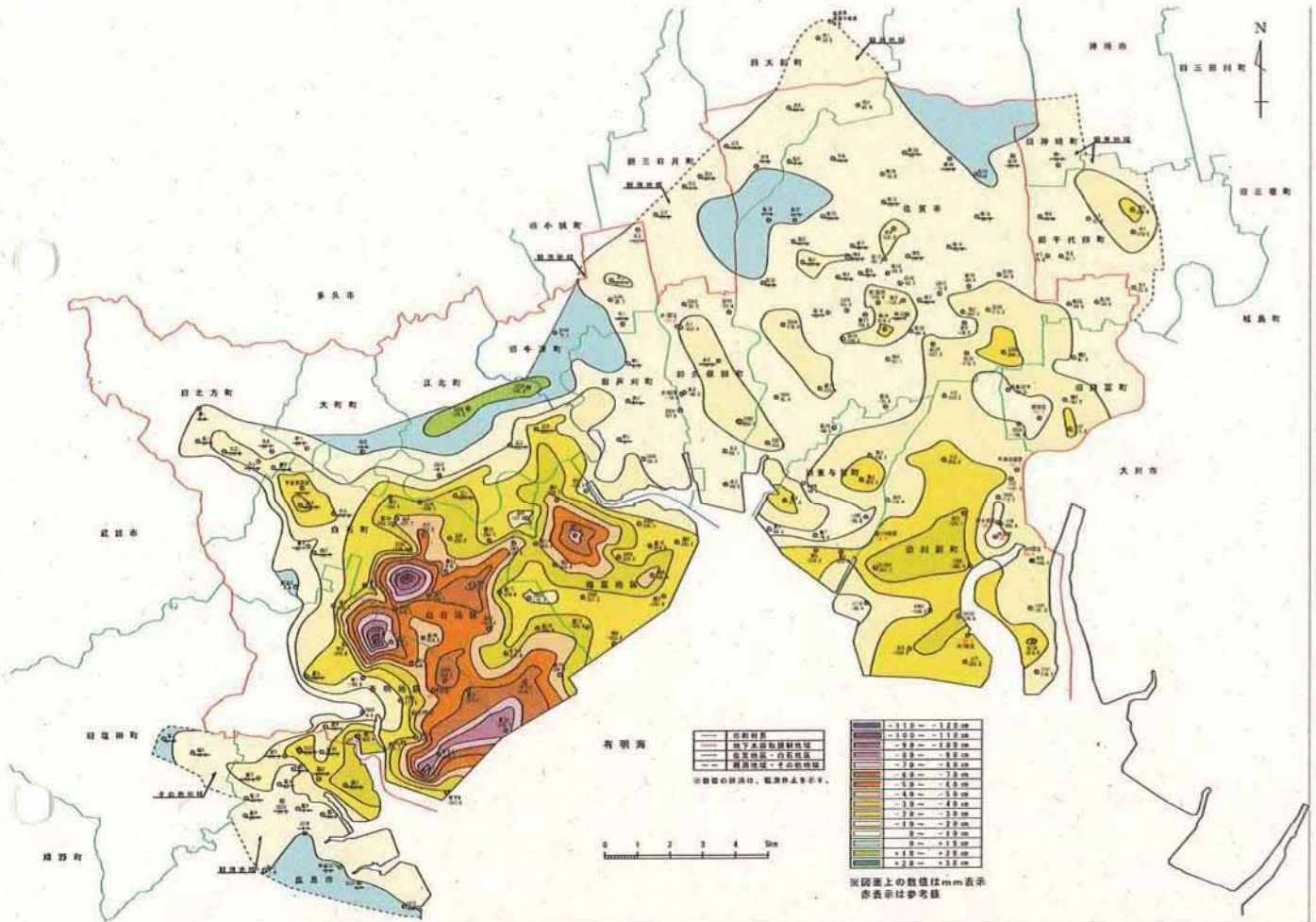


図2は、1972年から今まで、沈下した大きさごとに色を塗ったものです。赤色が濃いところは沈下が大きいです。佐賀平野の有明海沿岸が特に沈んでいることが分かります。

わたしたちに
できること

●むだな水は使わないようにしましょう。

◆有明海のごみ問題

有明海へのごみの流入

有明海沿岸には、梅雨や台風などによる大雨の後に、筑後川をはじめとする様々な川などから、流木やヨシクズ、また、わたしたちの生活に密接に関係するビニール袋やペットボトル、空き缶などのごみが大量に流れ込みます。

流木やヨシクズ以外のごみは、山や平野でのわたしたちの生活や社会活動に伴い、道路や水路等に捨てられたものが大雨により一気に川などから有明海へ流れ込んでいるものと考えられます。

※有明海は、外海との出入り口が狭く、細長い形をしている閉鎖性の高い海です。このため、外海からのごみは少なく、そのほとんどは川などから流れ込んだものです。



降った雨が有明海に流れ込む範囲



有明海沿岸に漂着したごみ

ごみの影響

これらのごみは、沿岸を漂流し、漁船の航行の支障となったり、ごみが漁船にからまり漁船が故障したりすることもあります。また、海苔などの漁業活動にも大きな支障となっているばかりでなく、海岸や干潟に漂着して、ムツゴロウやワラスポ、アサリをはじめとする貝類やシチメンソウなど様々な生物の生息の場を悪化させたり、広大で美しい干潟の景観を損ねたりするなど、漁業や自然環境に大きな影響を及ぼしています。

2017年7月九州北部豪雨の影響で有明海に流れ着いたごみ

ごみが漂着した有明海(鹿島海岸) ごみを取り除いた後の有明海



ごみが干潟にすむムツゴロウやワラスポ、貝類、シチメンソウなど様々な生き物の生活環境や美しい景観を損ねています。



子どもたちが環境問題を身近なことで考え、有明海を大切にしてほしいという思いで作った動画の一場面です。

有明海再生 PR 動画

検索

ごみを減らす取組

わたしたちの貴重な財産である有明海の環境を守るためには、有明海に流れ込むごみを少なくする取組が必要です。

はじめよう！
大切な海を守るためにあなたができること。



川や水路の清掃活動



有明海沿岸に漂着したごみの回収

わたしたちに できること

- 川や海はもちろん、道路などにもごみを捨てない。
- 道路や公園など、身のまわりでゴミを見つけたらひろう。
- 川や海、道路などの清掃活動に参加する。
- 外に出かけたときは、ごみは持ち帰る。